2022年２月８日

各　位

会 社 名　　アビックス株式会社
代表者名　　代表取締役社長　　廣田武仁
（コード番号：７８３６）
問合せ先　　取締役副社長　　桐原威憲
（TEL. 045-670-7720）

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年５月14日に公表した2022年３月期通期連結会計期間（2021年４月１日～2022年３月31日）の業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

１．連結業績予想の修正について

（1）2022年３月期通期連結業績予想数値（2021年４月１日～2022年３月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益（円）
前回発表予想(A)	1,350	37	30	28	1.11
今回修正予想(B)	1,800	△66	△73	△89	△2.53
増減額(B-A)	450	△103	△103	△117	―
増減率(%)	33.3	―	―	―	―
前期実績	1,210	22	15	15	0.61

（2）修正の理由

当社は、2021年11月５日公表の「吸収分割の完了に関するお知らせ（経過開示）」の通り、2021年11月１日付で株式会社プロテラスのデジタルサイネージ事業（一部除く）の吸収分割を完了いたしました。今回の修正理由は、当該吸収分割による影響を精査し、改めて通期の業績予想に反映したことによるものです。

売上高につきましては、当該吸収分割により、営業人員も増加し、各業界へのアプローチ強化やソリューションの価値向上の取組を開始したことから、前回の予想値と比し133.3%と、大きく上回る見込みとなりました。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当該吸収分割に伴うイニシャルコスト27百万円に加え、規模拡大による新事業所開設に伴うランニングコスト等が見込まれること、期初見込んでいなかったのれんの償却費が45百万円見込まれること、株式会社プロテラスより承継した事業が主にサブスクリプションモデルであり、当期損益に５ヵ月間しか寄与してい

ないことなどから、業績予想を下回り損失計上の見込みとなりました。来期につきましては、承継したサブスクリプション事業が一年間通して業績に寄与すること、本格的なシナジー効果が見込まれることなどから、上述した増加するコストを上回る収益を見込んでおります。

当社といたしましては、昨今の新型コロナウイルスの影響により、不透明、不安定な状況ではありますが、主力業界の一つとして取り組んでいるスタジアムやアリーナといったスポーツ施設や商業施設などの大型案件を積極的に展開していくことに加え、件数が増大することで収益性も高まっていくサブスクリプション事業が当社の軸となるよう、承継した事業を中心に拡大展開を図り、新たなサブスクリプションモデルのソリューションを追加開発、展開していくことで、デジタルサイネージ業界 No.1 を実現するべく邁進してまいります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上